

トレーニング

<今回の学習内容>

第1回講義 使用ページ
問題1～3

問題編

問題 1 計算規則B/Sのフォーム（ミニテスト類題）**基礎**

— 7分 —

答案用紙に示すA株式会社の当期（X6年4月1日からX7年3月31日）の貸借対照表の に
適当な区分名及び金額その他の事項を記入して、会社計算規則に準拠した貸借対照表のフォームを完
成させなさい。

問題2 B/Sの各区分の表示科目

基礎

- 15分 -

H株式会社の当期（X6年4月1日からX7年3月31日まで）の次に示す【資料1】残高試算表の一部及び【資料2】参考事項により、会社計算規則に準拠した貸借対照表を完成させなさい。

【資料1】残高試算表の一部

残高試算表の一部			
		(単位：千円)	
科 目	金 額	科 目	金 額
現金及び預金	45,200	支払手形	77,000
受取手形	132,900	買掛金	82,000
売掛金	126,600	借入金	83,000
有価証券	94,600	未払金	5,000
商品	28,100	未払法人税等	26,400
貯蔵品	4,200	前受金	4,900
貸付金	36,000	預り金	3,800
未収金	6,100	賞与引当金	25,000
建物	160,000	退職給付引当金	68,000
車両	110,000	資本金	400,000
土地	178,000	資本準備金	80,000
建設仮勘定	14,000	その他資本剰余金	12,000
借地権	4,000	利益準備金	25,000
特許権	3,000	新築積立金	10,000
開発費	1,900	別途積立金	12,500
⋮	⋮	繰越利益剰余金	30,000
		⋮	⋮

【資料2】参考事項

- 現金及び預金のうちには、長期預金38,500千円が含まれている。
- 受取手形のうちには、次のものが含まれている。
 - 短期固定資産売却受取手形 8,800千円
 - 長期固定資産売却受取手形 4,500千円
- 有価証券のうちには、次のものが含まれている。
 - 投資有価証券 24,400千円
 - 関係会社株式 58,000千円（固定資産に表示するものである）

4 貸付金の内訳は、次のとおりである。

(1) 短期貸付金 16,000千円

(2) 長期貸付金 20,000千円

5 未収金のうちには、長期未収金1,800千円が含まれている。

6 支払手形のうちには、次のものが含まれている。

(1) 短期固定資産購入支払手形 4,900千円

(2) 長期固定資産購入支払手形 6,400千円

7 借入金の内訳は、次のとおりである。

(1) 短期借入金 15,000千円

(2) 長期借入金 68,000千円

8 未払金のうちには、長期未払金1,900千円が含まれている。

9 預り金のうちには、長期預り金1,100千円が含まれている。

問題3 まとめ（計算規則B/S）

基礎

- 15分 -

M株式会社の当期（X6年4月1日からX7年3月31日）の次に示す資料により、会社計算規則に準拠した貸借対照表を作成しなさい。

【資料1】 残高試算表の一部

残高試算表の一部				(単位：千円)
現金及び預金	92,600	支払手形		689,000
受取手形	780,000	買掛金		678,000
売掛金	558,600	借入金		250,000
有価証券	85,000	未払金		18,800
商品	96,000	未払法人税等		78,900
前渡金	9,800	預り金		11,000
短期貸付金	40,000	賞与引当金		98,000
未収金	14,400	退職給付引当金		128,000
立替金	1,800	資本金		800,000
建物	1,200,000	資本準備金		120,000
車両	185,000	その他資本剰余金		15,000
土地	596,400	利益準備金		80,000
商標権	5,800	新築積立金		90,000
特許権	7,200	別途積立金		220,000
開発費	4,800	繰越利益剰余金		400,700

【資料2】 参考事項

- 現金及び預金のうちには、長期預金16,500千円が含まれている。
- 受取手形のうちには、短期固定資産売却受取手形8,000千円及び長期固定資産売却受取手形7,000千円が含まれている。
- 有価証券のうちには、投資有価証券22,000千円及び関係会社株式45,000千円（固定資産に表示するもの）が含まれている。
- 未収金のうちには、長期未収金6,600千円が含まれている。
- 建物のうちには、建設仮勘定20,000千円が含まれている。
- 支払手形のうちには、長期固定資産購入支払手形6,500千円が含まれている。
- 借入金の内訳は、次のとおりである。
 - 短期借入金 60,000千円
 - 長期借入金 190,000千円

- 8 未払金のうちには、長期末払金10,000千円が含まれている。
- 9 預り金のうちには、長期預り金6,000千円が含まれている。

解答編

問題 1 計算規則B/Sのフォーム（ミニテスト類題）

貸 借 対 照 表

A株式会社

X7年3月31日

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部		負 債 の 部	
I 流 動 資 産	(1,026,300)	I 流 動 負 債	(1,162,700)
現金及び預金	70,400	支 払 手 形	264,000
受 取 手 形	396,000	買 掛 金	253,000
売 掛 金	242,000	短 期 借 入 金	220,000
有 価 証 券	83,600	未 払 金	3,300
商 品	81,400	未 払 法 人 税 等	275,000
前 渡 金	33,000	預 り 金	18,700
未 収 金	64,900	賞 与 引 当 金	128,700
短 期 貸 付 金	55,000	II 固 定 負 債	(539,000)
II 固 定 資 産	(2,148,410)	社 債	110,000
1 有 形 固 定 資 産	(1,395,350)	長 期 借 入 金	176,000
建 物	550,000	退 職 給 付 引 当 金	253,000
車 両	148,500	負 債 の 部 合 計	1,701,700
器 具 備 品	66,000	純 資 産 の 部	
土 地	487,850	I 株 主 資 本	(1,495,010)
建 設 仮 勘 定	143,000	1 資 本 金	440,000
2 無 形 固 定 資 産	(189,200)	2 資 本 剰 余 金	(85,140)
商 標 権	189,200	(1) 資 本 準 備 金	77,000
3 投資その他の資産	(563,860)	(2) その他資本剰余金	8,140
投資有価証券	165,000	3 利 益 剰 余 金	(969,870)
関係会社株式	192,500	(1) 利 益 準 備 金	33,000
長 期 貸 付 金	121,000	(2) その他利益剰余金	(936,870)
長 期 預 金	85,360	新 築 積 立 金	110,660
III 繰 延 資 産	(22,000)	繰 越 利 益 剰 余 金	826,210
開 発 費	22,000	純 資 産 の 部 合 計	1,495,010
資 産 の 部 合 計	3,196,710	負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	3,196,710

【論点確認】

- ・ タイトル等の記載
- ・ 各区分の名称、金額欄の記載

【学習上のアドバイス】

- ・ 今後の学習においては、ここで学習した各区分を前提として内容確認をしていくため、今のうちにしっかりと各区分の名称を押さえるようにしよう。

問題2 B/Sの各区分の表示科目

貸 借 対 照 表

H株式会社

X7年3月31日

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部		負 債 の 部	
I 流 動 資 産	(326,500)	I 流 動 負 債	(229,700)
現金及び預金	6,700	支 払 手 形	65,700
受 取 手 形	119,600	買 掛 金	82,000
売 掛 金	126,600	短 期 借 入 金	15,000
有 価 証 券	12,200	未 払 金	3,100
商 品	28,100	未 払 法 人 税 等	26,400
貯 蔵 品	4,200	前 受 金	4,900
短 期 貸 付 金	16,000	預 り 金	2,700
未 収 金	4,300	賞 与 引 当 金	25,000
短期固定資産売却受取手形	8,800	短期固定資産購入支払手形	4,900
II 固 定 資 産	(616,200)	II 固 定 負 債	(145,400)
1 有 形 固 定 資 産	(462,000)	長 期 借 入 金	68,000
建 物	160,000	退職給付引当金	68,000
車 両	110,000	長 期 未 払 金	1,900
土 地	178,000	長 期 預 り 金	1,100
建 設 仮 勘 定	14,000	長期固定資産購入支払手形	6,400
2 無 形 固 定 資 産	(7,000)	負 債 の 部 合 計	375,100
借 地 権	4,000	純 資 産 の 部	
特 許 権	3,000	I 株 主 資 本	(569,500)
3 投資その他の資産	(147,200)	1 資 本 金	400,000
投資有価証券	24,400	2 資 本 剰 余 金	(92,000)
関係会社株式	58,000	(1) 資 本 準 備 金	80,000
長 期 預 金	38,500	(2) その他資本剰余金	12,000
長 期 貸 付 金	20,000	3 利 益 剰 余 金	(77,500)
長 期 未 収 金	1,800	(1) 利 益 準 備 金	25,000
長期固定資産売却受取手形	4,500	(2) その他利益剰余金	(52,500)
III 繰 延 資 産	(1,900)	新 築 積 立 金	10,000
開 発 費	1,900	別 途 積 立 金	12,500
		繰越利益剰余金	30,000
		純資産の部合計	569,500
資 産 の 部 合 計	944,600	負債及び純資産の部合計	944,600

【解答への道】（仕訳の単位：千円）

1 現金及び預金

(長期預金)	38,500	(現金及び預金)	38,500
＜投資その他の資産＞			

2 受取手形

(短期固定資産売却受取手形)	8,800	(受取手形)	13,300
＜流動資産＞			
(長期固定資産売却受取手形)	4,500		
＜投資その他の資産＞			

3 有価証券

(投資有価証券)	24,400	(有価証券)	82,400
＜投資その他の資産＞			
(関係会社株式)	58,000		
＜投資その他の資産＞			

4 貸付金

(短期貸付金)	16,000	(貸付金)	36,000
＜流動資産＞			
(長期貸付金)	20,000		
＜投資その他の資産＞			

5 未収金

(長期未収金)	1,800	(未収金)	1,800
＜投資その他の資産＞			

6 支払手形

(支 払 手 形)	11,300	(短期固定資産購入支払手形)	4,900
		<流 動 負 債>	
		(長期固定資産購入支払手形)	6,400
		<固 定 負 債>	

7 借入金

(借 入 金)	83,000	(短 期 借 入 金)	15,000
		<流 動 負 債>	
		(長 期 借 入 金)	68,000
		<固 定 負 債>	

8 未払金

(未 払 金)	1,900	(長 期 未 払 金)	1,900
		<固 定 負 債>	

9 預り金

(預 り 金)	1,100	(長 期 預 り 金)	1,100
		<固 定 負 債>	

【論点確認】

- ・ 各区分に記載される表示科目
- ・ 金額集計の仕方

【学習上のアドバイス】

- ・ 各区分の表示科目の内容については、個別論点で確認していくため、ここでは各区分に表示される表示科目にはどのようなものがあるのか、その概要を押さえよう。
- ・ 財表の表示科目と簿記の勘定科目では、用いる科目に違いが生じる場合がある。この場合には、勘定科目を表示科目へ振替える仕訳（財表特有の表示科目への振替仕訳）が必要となる。財務諸表に表示される表示科目を正確に覚えよう。

問題3 まとめ（計算規則B/S）

貸 借 対 照 表

M株式会社

X7年3月31日

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部		負 債 の 部	
I 流 動 資 産	(1,581,100)	I 流 動 負 債	(1,611,200)
現 金 及 び 預 金	76,100	支 払 手 形	682,500
受 取 手 形	765,000	買 掛 金	678,000
売 掛 金	558,600	短 期 借 入 金	60,000
有 価 証 券	18,000	未 払 金	8,800
商 品	96,000	未 払 法 人 税 等	78,900
前 渡 金	9,800	預 り 金	5,000
短 期 貸 付 金	40,000	賞 与 引 当 金	98,000
未 収 金	7,800	II 固 定 負 債	(340,500)
立 替 金	1,800	長 期 借 入 金	190,000
短期固定資産売却受取手形	8,000	退職給付引当金	128,000
II 固 定 資 産	(2,091,500)	長 期 未 払 金	10,000
1 有 形 固 定 資 産	(1,981,400)	長 期 預 り 金	6,000
建 物	1,180,000	長期固定資産購入支払手形	6,500
車 両	185,000	負債の部合計	1,951,700
土 地	596,400	純 資 産 の 部	
建 設 仮 勘 定	20,000	I 株 主 資 本	(1,725,700)
2 無 形 固 定 資 産	(13,000)	1 資 本 金	800,000
商 標 権	5,800	2 資 本 剰 余 金	(135,000)
特 許 権	7,200	(1) 資 本 準 備 金	120,000
3 投資その他の資産	(97,100)	(2) その他資本剰余金	15,000
投資有価証券	22,000	3 利 益 剰 余 金	(790,700)
関係会社株式	45,000	(1) 利 益 準 備 金	80,000
長 期 預 金	16,500	(2) その他利益剰余金	(710,700)
長 期 未 収 金	6,600	新 築 積 立 金	90,000
長期固定資産売却受取手形	7,000	別 途 積 立 金	220,000
III 繰 延 資 産	(4,800)	繰越利益剰余金	400,700
開 発 費	4,800	純資産の部合計	1,725,700
資産の部合計	3,677,400	負債及び純資産の部合計	3,677,400

【解答への道】（仕訳の単位：千円）

1 現金及び預金

（長期預金） ＜投資その他の資産＞	16,500	（現金及び預金）	16,500
----------------------	--------	----------	--------

2 受取手形

（短期固定資産売却受取手形） ＜流動資産＞	8,000	（受取手形）	15,000
（長期固定資産売却受取手形） ＜投資その他の資産＞	7,000		

3 有価証券

（投資有価証券） ＜投資その他の資産＞	22,000	（有価証券）	67,000
（関係会社株式） ＜投資その他の資産＞	45,000		

4 未収金

（長期未収金） ＜投資その他の資産＞	6,600	（未収金）	6,600
-----------------------	-------	-------	-------

5 建物

（建設仮勘定） ＜有形固定資産＞	20,000	（建物）	20,000
---------------------	--------	------	--------

6 支払手形

（支払手形）	6,500	（長期固定資産購入支払手形） ＜固定負債＞	6,500
--------	-------	--------------------------	-------

7 借入金

(借入金)	250,000	(短期借入金)	60,000
		<流動負債>	
		(長期借入金)	190,000
		<固定負債>	

8 未払金

(未払金)	10,000	(長期未払金)	10,000
		<固定負債>	

9 預り金

(預り金)	6,000	(長期預り金)	6,000
		<固定負債>	

【論点確認】

- ・ 各区分に記載される表示科目
- ・ 金額欄の使い方

【学習上のアドバイス】

- ・ 計算において大事なものは、仕訳力と集計力である。各取引に関して、適正な処理を行い、そのうえで各科目の金額を適正に集計できなければ、正しい解答を導くことはできないのである。したがって、計算を解く際は、常に仕訳と集計を意識するようにしよう。なお、集計をする際に、効率良く行うための一つの手段として計算表の作成がある。これについては、次のページに示しておくので参考にすると良いであろう。

◆参考 B/S計算表の作成手順

計算問題の解法手順には様々なものがあり、一概に優劣をつけることは難しい。たとえば、残高試算表の余白に変動した数値や新たに生じた科目名をメモしておく方法もあれば、すべての問題に関する仕訳をメモし、集計する方法もある。

ここでは、それらの方法のうち「計算表（仮計表）」を作成する方法を紹介する。

ただし、絶対的に作成しなければならないものではないため、自分に合うかどうかを勘案してほしい。

(1) まず、枠組を作る。借方と貸方に大きく分け、それぞれについていくつかの区分に区切る。

借方は、①流動資産（流資）、②有形固定資産（有固）、③無形固定資産（無固）、④投資その他の資産（投資）、⑤繰延資産（繰資）の5つに、貸方は、①流動負債（流負）、②固定負債（固負）、③純資産（純産）の3つに区切る。その際、各区分（とくに、流動資産、投資その他の資産、流動負債、固定負債の4つ）とも十分な余裕をもたせておくようにする。

(2) 次に、残高試算表の各科目名と金額を記入する。

(3) さらに、決算整理等の資料（参考資料）に基づいて必要な処理（仕訳）を頭の中で行い、科目と金額を記入していく。その際、金額の増加は「+」、減少は「-」の符号を付けてそれぞれ記入する。また、新たに出てきた科目は書き加えていく。

(4) その他の留意点

- ① 決算日の日付は、必ずマークしておくこと。また1年後の日付もメモしておくこと。
- ② 各科目ごとに（T/B）+（増）-（減）の要領でB/Sに記入していく。
- ③ 記入漏れを防止するために記入済のものは次のいずれかの方法によりチェックしていく。

(イ) ヨコ線で消していく方法（これが最も確実）

現 預	
受 手	
⋮	

(ロ) タテ線のチェックマークを付す方法（これは全部について付すと1本の線につながる
ので記入漏れがあれば一目瞭然）

現 預	
受 手	
⋮	

具体的に本間を使って B/S 計算表を作成してみよう。

B/S 計 算 表

(流 資)		(流 負)	
現 預	92,600－16,500	支 手	689,000－6,500
受 手	780,000－15,000	買 掛	678,000
売 掛	558,600	借 入	250,000－250,000
有 価	85,000－67,000	短 借	60,000
商 品	96,000	未 金	18,800－10,000
前 渡	9,800	未払法	78,900
短 貸	40,000	預 り	11,000－6,000
未 金	14,400－6,600	賞 引	98,000
立 替	1,800		
短固売	8,000		
(有 固)		(固 負)	
建 物	1,200,000－20,000	長 借	190,000
車 両	185,000	退 引	128,000
土 地	596,400	長 未	10,000
建 仮	20,000	長 預	6,000
		長固購	6,500
(無 固)		(純 産)	
商 標	5,800	資 本	800,000
特 許	7,200	資 準	120,000
(投 資)		他・資	15,000
投 有	22,000	利 準	80,000
関 株	45,000	新 積	90,000
長 預	16,500	別 積	220,000
長 未	6,600	繰 利	400,700
長固売	7,000		
(繰 資)			
開 発	4,800		

なお、B/S 計算表内の太字（ゴシック）部分は残高試算表の内容を示し、細字部分はその後の調整を示す。

トレーニング・シート

財務諸表論 完全合格コース トレーニングNo.1 答案用紙

問題 1

貸借対照表

A株式会社			(単位：千円)
科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部		負 債 の 部	
I	()	I	()
現金及び預金	70,400	支払手形	264,000
受取手形	396,000	買掛金	253,000
売掛金	242,000	短期借入金	220,000
有価証券	83,600	未払金	3,300
商 品	81,400	未払法人税等	275,000
前 渡 金	33,000	預 り 金	18,700
未 収 金	64,900	賞与引当金	128,700
短期貸付金	55,000	II	()
II	()	社 債	110,000
1.	()	長期借入金	176,000
建 物	550,000	退職給付引当金	253,000
車 両	148,500	負債の部合計	
器具備品	66,000	純資産の部	
土 地	487,850	I 株 主 資 本	()
建設仮勘定	143,000	1. 資 本 金	440,000
2.	()	2.	()
商 標 権	189,200	(1)	77,000
3.	()	(2)	8,140
投資有価証券	165,000	3.	()
関係会社株式	192,500	(1) 利 益 準 備 金	33,000
長期貸付金	121,000	(2) その他利益剰余金	()
長期預金	85,360	新 築 積 立 金	110,660
III	()	繰越利益剰余金	826,210
開 発 費	22,000	純資産の部合計	
資産の部合計		負債及び純資産の部合計	

問題 2

貸 借 対 照 表			
H株式会社		X7年 3 月 31 日	
		(単位：千円)	
科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部		負 債 の 部	
I 流 動 資 産	()	I 流 動 負 債	()
現金及び預金		支 払 手 形	
受 取 手 形		買 掛 金	82,000
売 掛 金	126,600	短 期 借 入 金	
有 価 証 券		未 払 金	
商 品	28,100	未 払 法 人 税 等	26,400
貯 蔵 品	4,200		
		預 り 金	
未 収 金		賞 与 引 当 金	25,000
II 固 定 資 産	()	II 固 定 負 債	()
1 有 形 固 定 資 産	()	長 期 借 入 金	
建 物	160,000	退 職 給 付 引 当 金	68,000
車 両	110,000		
土 地	178,000		
2 無 形 固 定 資 産	(7,000)	負 債 の 部 合 計	
借 地 権	4,000	純 資 産 の 部	
特 許 権	3,000	I	()
3 投 資 そ の 他 の 資 産	()	1 資 本 金	
投資有価証券		2	()
関係会社株式		(1)	
		(2)	
		3	()
		(1)	
		(2)	()
III 繰 延 資 産	(1,900)		
開 発 費	1,900		
		純 資 産 の 部 合 計	
資 産 の 部 合 計		負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	

問題 3

貸 借 対 照 表			
M株式会社		X7年 3 月31日	
		(単位：千円)	
科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部		負 債 の 部	
I 流 動 資 産	()	I 流 動 負 債	()
現金及び預金		支 払 手 形	
受 取 手 形		買 掛 金	678,000
売 掛 金	558,600	短 期 借 入 金	
有 価 証 券		未 払 金	
商 品	96,000	未払法人税等	78,900
		預 り 金	
短 期 貸 付 金	40,000	賞 与 引 当 金	98,000
未 収 金		II 固 定 負 債	()
立 替 金	1,800	長 期 借 入 金	
		退職給付引当金	128,000
II 固 定 資 産	()		
1 有 形 固 定 資 産	()		
建 物			
車 両	185,000	負 債 の 部 合 計	
土 地	596,400	純 資 産 の 部	
		I 株 主 資 本	()
2 無 形 固 定 資 産	(13,000)	1	
商 標 権	5,800	2 資 本 剰 余 金	()
特 許 権	7,200	(1)	
3 投資その他の資産	()	(2)	
投資有価証券		3 利 益 剰 余 金	()
関係会社株式		(1)	
		(2)	()
III 繰 延 資 産	(4,800)		
開 発 費	4,800	純 資 産 の 部 合 計	
資 産 の 部 合 計		負債及び純資産の部合計	